



関町小通信

平成29年10月31日
練馬区立関町小学校
学校だより 11月号

イルカ教室&車椅子バスケットボール教室から

校長 福岡 勤

「イルカは、次の動物の内、どの仲間でしょう？

①ネコ、②トリ、③サカナ、④カメ。」

この問題は、5年生児童が10月10日（火）から2泊3日の下田移動教室の中で行った「イルカ教室」冒頭の講師の先生からの問いかけです。

「①のネコだと思う人？（約10%の子が挙手）」

「②のトリだと思う人？（約20%の子が挙手）」

「③のサカナだと思う人？（約40%の子が挙手）」

「④のカメだと思う人？（約30%の子が挙手）」

知識がなければ、この種の問題に対しては誰もが「この問いは、普通の問題ではないはず、きっと当然『サカナ！』と答えるであろう私たちに『へ～！』と言わせたいはずだから…」と深読みをするところですが、関小の子は素直です。自分が思い描くイメージのとおり『③』と4割の子が答えたのです。「答えは…」大人の皆さんに言うまでもないことなので、ここでは正解を示しませんが、改めて関小の子供たちの素直さに感心しました。

また、下田漁港の見学に行った際、借用した公衆トイレでお会いした清掃作業員の女性からは、「練馬の子たちとよくすれ違ふけれど、同じ練馬の学校でもこの子はしっかりと挨拶ができて偉いですね。」と私に立ち話でしたが、子供たちを褒めていただく話をしてくださいました。

10月16日（月）、同じく5年生がオリンピック・パラリンピック教育振興予算を使って、障がい者スポーツの一つである車椅子バスケットボールの体験をしました。この競技スポーツの体験教室は大変人気があるため、学校で開催することは大変難しいのですが、本校同窓会長の大橋徹様の御紹介で、6月に、日本障がい者スポーツ協会常任理事、日本パラリンピック委員会の副委員長の



競技用車椅子に乗り、ドリブルをする5年生児童

高橋秀文様に直接お目にかかって話を進めることができたことで、今回の体験教室が実現しました。

当日はNO EXCUSE という東京都のチームに所属する3名の方にお越しいただき、子供たちは競技用車椅子の構造の話を伺い、操作法や乗車しながら行うドリブルなどの体験をすることができました。NO EXCUSE というチーム名は「言い訳をしない」という言葉から命名したことなどを渉外担当の方からお伺いし、障がい者スポーツの実施・普及への深い志と、熱い思いを感じました。

日本障がい者スポーツ協会を訪問した際、前述の高橋秀文様の「オリンピックの実施会場以上にパラリンピックの実施会場を観客で満員にすることが私たちの目標です。またそれ以上に見聞きして知っているだけの競技に終わらずに日本の皆さんに興味をもっていただき、普段行っている試合会場にも沢山の人が足を運んでいただけるよう努力しています。」「そのためには未来を担うお子さんに来ていただきたいのです。子供だけで会場に来ることはできませんので、ぜひ保護者の皆様も同伴の形でご来場いただきたいのです。」という話を伺ったことが大変印象に残りました。特に今回体験した5年生の皆さん、そして保護者の皆様、観戦よろしくお願いたします。